

「2035年にありたい姿」に向けて

“つなぐ力”で広く社会に貢献する
企業グループへ

JB本四高速グループ ビジョン2035

「2035年にありたい姿」の実現に向け、
更なる機能向上・成果拡大を本格化

中期経営計画 2025-2027

「次世代への4つの挑戦」を掲げ、
高速道路事業の高度化・効率化を進化

行動計画 2022-2024

年間利用台数	45.5 百万台	(2024年度見込)
本州四国間の交流人口	5,865 万人	(2023年度実績)
暫定的な整備手法による 橋梁耐震補強完了率	81 %	(2024年度見込)
渋滞損失時間	6 万台・時	(2023年度実績)
CO ₂ 排出量削減(2013年比)	40 %	(2023年度見込)

次世代への挑戦

- ・DX推進による高速道路事業の高度化・効率化
- ・200年橋梁を目指した長大橋維持管理技術の高度化
- ・瀬戸内地域と連携した利用促進や地域貢献
- ・意識改革と業務遂行によるグループの基盤づくり

年間利用台数	46.5 百万台	(2027年度目標)
本州四国間の交流人口	6,675 万人	(2027年度目標)
暫定的な整備手法による 橋梁耐震補強完了率	86 %	(2027年度目標)
渋滞損失時間	3 万台・時	(2027年度目標)
CO ₂ 排出量削減(2013年比)	50 %	(2027年度目標)

3ヵ年の重点施策

- ・強靱化による災害対応力の強化
- ・インフラの長寿命化と管理の効率化
- ・地域連携事業、橋梁技術支援事業の拡大
- ・CO₂排出量を2013年比で半減
- ・人的資本経営の推進

年間利用台数	47.0 百万台	(2035年度目標)
本州四国間の交流人口	6,742 万人	(2035年度目標)
暫定的な整備手法による 橋梁耐震補強完了率	100 %	(2035年度目標)
渋滞損失時間	1 万台・時	(2035年度目標)
CO ₂ 排出量削減(2013年比)	65 %	(2035年度目標)

2035年への道のり

- ・本四間移動の安全・安心・快適の追求
- ・瀬戸内地域の発展と橋梁技術の課題解決に貢献
- ・サステナビリティ経営を深化
- ・魅力と誇りに満ちたJB本四高速グループへ成長